

サービスセンター 桂坂だより

第3号

〒610-1101 京都府京都市西京区大枝北沓掛町一丁目 21 番地の 94

☎075-335-3610 令和4年4月吉日発行



2階 小規模多機能フロア

新春

書き初め

1月 新年ということで、書き初めをしました。

「筆なんか長いこと持ってへんなー」「上手いこと書けへん」など職員も一緒に、ワイワイと言いながら楽しみました。

一筆一筆に気持ちをこめて。みなさん思い思いに、ステキな作品を仕上げてもらいました。今回はお手本を敢えてなしにして、お好きな文字を書いていただくことに！今年一年の目標を書く印象がある書き初めですが、個性的な作品が勢ぞろいしました。



手づくりランチデー



3月 今月の職員手作りランチデーは“サンドウィッチ”でした。今回は訪問サービスのみを利用されている方々にも食べていただきたいと思い、ご自宅への配達も実施しました。「ランチボックスみたい！」と、ひさしぶりのサンドウィッチにみなさん大喜びでした。

職員紹介リレー

いつも大変お世話になっております。桂坂(小規模多機能型居宅介護事業所)で管理者と計画作成担当者をしている、竹田と申します。今回より事業所の職員をリレー形式で紹介するコーナーが始まるとの事で、恐縮ながらトップバッターを務めさせていただきます。編集からも「自由に」との事でしたので、そのように。



生まれも育ちも右京区で、特にのめり込むような趣味もありませんが文房具が好きで、ちょいちょい買い足しては一人満足しています。お仕事においては、法人に入社して19年目となりますので、どうしても人の入れ替わりの活発な介護業界においてはベテランに分類されるものと思いますが、にしてはあまりにも安定感というか「どっしり」感が身につかないと感じ、一人称を「僕」から「私」へ、変えようとしているのがこの春のチャレンジと言えましょうか。ただお会いするというのが貴重な機会となる昨今、自身と事業所の成長をしっかりと感じてもらうことができるよう、小さくとも様々なことに取り組んでゆこうと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

小規模多機能型居宅介護管理者 竹田



～新年度を迎えて～

おかげさまで当事業所も開設7年目を迎えることができました。この2年ほどは新型コロナウイルスの対応に奔走し、ご利用者の希望に沿った支援が難しかったですが、オンラインの活用や日々のケアの見直しなど、一気に進んだ一面もありました。これからは感染症対策を徹底しながら今まで自粛していたところを少しずつ再開していけるように取り組んでいきたいと思ひます。

(所長 浦川良太郎)

グループホームでの生活

2月 節分

毎年恒例の節分の行事を行いました。昼食は巻きずしのまるかぶり。おやつの中には職員が扮した鬼が登場し、「鬼は外！！福は内！！」との掛け声で豆まきをしました。みなさんお優しいのでやや遠慮がちに豆を投げて、鬼退治をしてくださいました。



3月 ひなまつり

職員寄贈の七段飾りのひな人形と、おひとりずつ記念撮影を行いました。みなさん「きれいやなあ」「すごいなあ」と仰られていました。「こんなん、虫がつかんようにしまっとくの、大変やろなあ」と心配してくださる方もおられました。

担当より・・新年度を迎えて心機一転といきたいところですが、今年度も介護の現場は新型コロナウイルス関連の対策に追われることになるでしょう。そんな中でもご入居者の方々には「笑顔で安心して」毎日を過ごしていただけるよう、頑張っていきます。(グループホーム介護職員:1)